

2022年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年1月11日

東・名

上場会社名 株式会社進和 上場取引所  
 コード番号 7607 URL <https://www.shinwa-jpn.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 根本哲夫  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 三輪誠司 (TEL) 052-796-2533  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第1四半期の連結業績(2021年9月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第1四半期	17,216	32.4	1,206	86.9	1,268	88.5	850	89.2
2021年8月期第1四半期	13,004	△17.5	645	△34.8	673	△24.6	449	△22.0

(注) 包括利益 2022年8月期第1四半期 881百万円(59.5%) 2021年8月期第1四半期 552百万円(△16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第1四半期	63.72	—
2021年8月期第1四半期	33.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第1四半期	58,525	32,339	55.1
2021年8月期	56,905	31,951	56.0

(参考) 自己資本 2022年8月期第1四半期 32,224百万円 2021年8月期 31,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	35.00	—	37.00	72.00
2022年8月期	—	—	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	37.00	—	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	14.9	2,018	12.3	2,089	14.1	1,440	18.8	107.91
通期	67,000	9.5	4,300	7.4	4,400	6.3	3,000	8.4	224.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年8月期1Q	14,415,319株	2021年8月期	14,415,319株
2022年8月期1Q	1,065,241株	2021年8月期	1,065,104株
2022年8月期1Q	13,350,126株	2021年8月期1Q	13,337,030株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、ワクチン接種の進展や行動制限の緩和などにより、緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異株の出現により感染拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況となりました。

当社グループの主要ユーザーである自動車業界におきましては、コロナ禍から回復基調ではあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大や半導体不足による部品の調達難により、自動車各社は減産を余儀なくされました。設備投資については、日本国内では依然、受注環境は厳しい状況が続きましたが、海外では中国を中心に総じて堅調に推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、受注済みの大型プロジェクトを着実に推し進めるとともに、今後さらなる設備投資が期待できる次世代自動車マーケットに対する営業を強化してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は172億16百万円（前年同期比32.4%増）、経常利益は12億68百万円（前年同期比88.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億50百万円（前年同期比89.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ①日本

主に日系自動車部品メーカー向けに溶接設備・材料の売上が増加したことや中国の半導体・エレクトロニクスデバイスメーカー向けに自社製品の精密塗布装置の売上が大きく伸長したことにより、売上高は134億63百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益は8億30百万円（前年同期比137.8%増）となりました。

#### ②米国

生産設備の大型プロジェクトはなかったものの、日系自動車メーカー・同部品メーカー向けに溶接材料の売上が堅調であったこと等により、売上高は12億89百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は45百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

#### ③東南アジア

タイでは日系自動車メーカー向けの設備投資が低調であったことにより売上高、セグメント利益とも前年同期実績を下回りましたが、インドネシアでは日系自動車メーカー向けに溶接設備・材料の売上が伸長したこと等により、売上高は8億45百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は79百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

#### ④中国

日系自動車メーカー向けに生産工場能力増強に伴う生産設備の売上が計上できたことにより、売上高は42億42百万円（前年同期比280.3%増）、セグメント利益は3億67百万円（前年同期比327.0%増）となりました。

#### ⑤その他

チェコの日系自動車メーカー向けに生産管理システムの売上等を計上しましたが、売上高は1億54百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、585億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億19百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ15億96百万円増加し、491億52百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億73百万円、原材料及び貯蔵品が3億25百万円、前渡金の減少等により流動資産のその他が6億65百万円減少しましたが、現金及び預金が9億46百万円、電子記録債権が9百万円、商品及び製品が7億2百万円、仕掛品が15億1百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、93億72百万円となりました。これは主に、有形固定資産が52百万円減少しましたが、無形固定資産が71百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ13億8百万円増加し、251億98百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億10百万円、前受金が3億3百万円、引当金が1億88百万円減少しましたが、電子記録債務が3億58百万円、未払法人税等71百万円、短期借入金が10億34百万円、未払費用の増加等により流動負債のその他が5億47百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、9億87百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億88百万円増加し、323億39百万円となりました。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.0%から0.9ポイント低下し55.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月期の連結業績予想につきましては、2021年10月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,879,840	15,826,356
受取手形及び売掛金	10,325,109	9,751,240
電子記録債権	5,688,652	5,698,403
商品及び製品	10,749,453	11,452,387
仕掛品	1,777,287	3,278,890
原材料及び貯蔵品	929,745	604,559
その他	3,209,892	2,544,389
貸倒引当金	△3,863	△3,579
流動資産合計	47,556,118	49,152,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,075,390	2,063,389
その他(純額)	4,447,625	4,407,345
有形固定資産合計	6,523,016	6,470,735
無形固定資産		
のれん	47,821	43,039
その他	388,601	464,523
無形固定資産合計	436,423	507,563
投資その他の資産		
投資有価証券	2,063,807	2,078,161
その他	328,258	317,742
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	2,390,290	2,394,128
固定資産合計	9,349,730	9,372,427
資産合計	56,905,848	58,525,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,546,694	10,335,857
電子記録債務	3,649,457	4,007,550
短期借入金	1,197,700	2,231,700
1年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払法人税等	525,017	596,031
前受金	6,752,169	6,448,820
引当金	302,989	114,602
その他	896,452	1,443,929
流動負債合計	23,890,473	25,198,484
固定負債		
長期借入金	13,408	8,410
退職給付に係る負債	32,241	32,972
その他	1,018,517	945,858
固定負債合計	1,064,166	987,240
負債合計	24,954,640	26,185,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	951,106	951,106
資本剰余金	1,676,950	1,676,950
利益剰余金	29,908,859	30,265,580
自己株式	△801,250	△801,570
株主資本合計	31,735,665	32,092,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,531	385,230
繰延ヘッジ損益	△3,026	△56,409
土地再評価差額金	△641,184	△641,184
為替換算調整勘定	372,418	444,503
その他の包括利益累計額合計	105,739	132,139
非支配株主持分	109,802	115,145
純資産合計	31,951,207	32,339,350
負債純資産合計	56,905,848	58,525,075

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2021年11月30日)
売上高	13,004,445	17,216,182
売上原価	10,847,236	14,312,444
売上総利益	2,157,208	2,903,738
販売費及び一般管理費	1,511,683	1,697,001
営業利益	645,524	1,206,736
営業外収益		
受取利息	2,867	4,007
受取配当金	3,400	3,886
為替差益	—	52,253
受取賃貸料	12,839	11,261
その他	31,289	6,034
営業外収益合計	50,396	77,442
営業外費用		
支払利息	777	14,916
為替差損	16,885	—
その他	5,182	543
営業外費用合計	22,845	15,459
経常利益	673,075	1,268,719
特別利益		
固定資産売却益	403	—
特別利益合計	403	—
特別損失		
固定資産除売却損	228	712
特別損失合計	228	712
税金等調整前四半期純利益	673,250	1,268,006
法人税、住民税及び事業税	244,187	449,817
法人税等調整額	△24,079	△36,541
法人税等合計	220,108	413,276
四半期純利益	453,142	854,730
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,581	4,051
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,560	850,678



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2021年11月30日)
四半期純利益	453,142	854,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,280	7,698
繰延ヘッジ損益	14,537	△53,383
為替換算調整勘定	76,465	72,084
その他の包括利益合計	99,284	26,399
四半期包括利益	552,427	881,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	547,069	875,787
非支配株主に係る四半期包括利益	5,357	5,342

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当会計基準等の適用による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりです。

## ・顧客への商品及び製品の販売

海外にて、複数の設備を組み合わせて稼働する設備の一部を受注する案件において、当社納入設備の機能確認が完了していても、設備全体の稼働確認が完了するまで収益を認識しないこととしておりましたが、当社納入設備の機能確認が完了した時点で収益を認識することとしております。

当第1四半期連結累計期間には該当する取引がなかったため、損益に与える影響はありません。

## ・有償受給取引

顧客に実質的に買い戻す義務が生じており、当社に支配が移転していないと判断される有償受給材の期末棚卸高について、従来は流動資産の「商品及び製品」「原材料及び貯蔵品」に含めて表示しておりましたが、「その他」に含めて表示しております。

この結果、流動資産の「その他」が35,287千円増加、「商品及び製品」が14,462千円減少、「原材料及び貯蔵品」が20,824千円減少しております。

## ・有償支給取引

従来は、有償支給した支給品について棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当社が実質的に買い戻し義務を負っていると判断される有償支給取引について、棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について有償支給取引に係る負債を認識しております。

この結果、流動資産の「原材料及び貯蔵品」が6,991千円、流動負債の「その他」が6,991千円それぞれ増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南 アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	10,000,549	1,181,240	794,332	881,299	12,857,421	147,024	13,004,445
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,524,075	73,113	5,787	234,359	1,837,336	15,987	1,853,323
計	11,524,624	1,254,353	800,120	1,115,659	14,694,757	163,011	14,857,769
セグメント利益	349,327	52,503	61,585	86,145	549,561	18,425	567,987

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	567,987
セグメント間取引消去	24,951
未実現利益の調整	52,586
四半期連結損益計算書の営業利益	645,524

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南 アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	11,282,372	1,109,741	841,165	3,859,406	17,092,686	123,496	17,216,182
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,180,918	180,079	4,499	383,545	2,749,043	31,204	2,780,247
計	13,463,290	1,289,821	845,665	4,242,952	19,841,729	154,701	19,996,430
セグメント利益	830,668	45,502	79,377	367,859	1,323,407	13,562	1,336,969

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	1,336,969
セグメント間取引消去	△16,176
未実現利益の調整	△114,056
四半期連結損益計算書の営業利益	1,206,736

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による売上高およびセグメント利益に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

	報告セグメント					その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	東南アジア (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
市場分野別							
自動車・自動車部品	7,289,967	1,034,833	580,234	3,303,282	12,208,316	86,409	12,294,726
電気機器	2,274,220	10,225	40,305	161,907	2,486,659	1,326	2,487,985
機械	469,009	42,884	11,922	203,956	727,772	2,662	730,434
商業	381,739	18,399	24,763	5,179	430,081	33,086	463,167
石油・化学	322,425	859	14,239	2,332	339,857	0	339,857
金属製品	105,660	0	79,382	1,293	186,336	0	186,336
ゴム	61,141	6	87,974	3,145	152,267	0	152,267
その他	378,208	2,534	2,343	178,308	561,395	11	561,407
顧客との契約から生じる収益	11,282,372	1,109,741	841,165	3,859,406	17,092,686	123,496	17,216,182
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,282,372	1,109,741	841,165	3,859,406	17,092,686	123,496	17,216,182

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州および南米の現地法人の事業活動を含んでおります。